

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年9月30日

上場会社名 株式会社ダイヤモンドダイニング 上場取引所 東
 コード番号 3073 URL http://www.diamond-dining.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 樋口 康弘 TEL 03-6860-3250
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	12,369	0.4	272	4.2	300	14.6	110	33.4
25年2月期第2四半期	12,324	20.5	284	98.5	351	83.3	82	-

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 155百万円(69.6%) 25年2月期第2四半期 91百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	46.17	-
25年2月期第2四半期	34.26	-

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	12,843	2,886	22.5	1,220.05
25年2月期	11,899	2,859	24.0	1,182.94

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 2,886百万円 25年2月期 2,859百万円

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	-	0.00	-	2,500.00	-
26年2月期	-	0.00	-	-	-
26年2月期(予想)	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しております。平成25年2月期の配当金につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	1.7	665	3.8	690	15.9	200	157.0	83.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
平成25年3月1日付で、連結子会社であった株式会社シークレットテーブルは、当社を存続会社とした吸収合併により消滅いたしました。
詳細は、添付資料P.3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無
（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	2,422,000株	25年2月期	2,422,000株
期末自己株式数	26年2月期2Q	56,300株	25年2月期	4,400株
期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	2,393,936株	25年2月期2Q	2,417,600株

（注）平成25年9月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権下における金融緩和をはじめとした各種政策など経済成長への期待感から、個人消費の持ち直し、雇用情勢に改善の動きが見られ、景気回復の持ち直しが見られたものの、海外における経済不安や景気の減速、消費税増税等に対する不安感から、依然として景気の先行きが不透明な状況でありました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましても、消費マインドに改善の動きが見られるものの、外食業界における企業間の顧客確保の競争は激しさを増しており、当業界を取り巻く経営環境は引き続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、『世界一のエンターテイメント外食企業グループ』へ向けた収益基盤強化を図るため、当第2四半期連結累計期間におきましては「マルチ(複数)ブランド」戦略におけるブランドマネジメント制を加速させ、店舗競争力復活及び高付加価値の創造を実現させるため、高収益業態店舗への業態集約に取り組んでまいりました。

また、当社グループは、平成25年3月1日を効力発生日として、飲食事業セグメントを構成する当社及び当社の完全子会社である株式会社シークレットテーブルならびに同株式会社バグスの飲食事業部門を合併及び会社分割の方法によるグループ内組織再編を実施致しました。このグループ再編により、ブランドマネジメント制による更なる効率性・収益性の向上・強化を図ると同時に、一層の経営効率化、業務運営体制の充実化、グループガバナンス強化を図ってまいります。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

飲食事業

マルチブランド戦略を推進する飲食事業におきましては、当社グループの強みである「コンセプト」・「空間」・「ストーリー」を一層魅力あるものにし、お客様のリピート率向上を図るため、従来以上にQSC(Quality:品質、Service:サービス、Cleanliness:清潔さ)の強化・徹底に取り組むと同時に、今後の集客力強化及び売上高向上の施策の一環として、予約コールセンター及びオンライン予約システムの利便性強化、DDマイル(ご予約お客様専用のポイント制度)の会員数増加施策の仕組作りにも努めてまいりました結果、店舗展開状況につきましては、5店舗の新規出店、36店舗の業態変更、12店舗の退店により計175店舗となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,203百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は627百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

アミューズメント事業

「BAGUS」ブランドにて展開しておりますアミューズメント事業におきましては、ビリヤード・ダーツ部門では初心者ターゲットとした新規顧客層の獲得による顧客層拡大に注力する一方、当社グループのフラグシップ店舗として新業態「1967」の出店を行うなど、収益基盤の多様化に努めてまいりました。複合カフェ部門では非稼働エリア・非稼働時間帯の稼働向上策を実施する事で集客力向上に取り組む一方、店舗へのダーツ台導入、MSR(ミステリーショッピングリサーチ)への取り組み強化により、お客様満足度の向上に取り組んでまいりました結果、店舗展開状況につきましては、3店舗の新規出店、2店舗の退店により計44店舗となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,145百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益は304百万円(前年同期比14.8%減)となりました。

ライセンス事業

ライセンス事業におきましては、「やきとり 金」業態のライセンス募集について、継続的な事業説明会、店舗見学会等による積極的な加盟店募集に注力する一方、「九州 熱中屋」業態のフランチャイズ募集を開始いたしました結果、平成25年8月31日現在における加盟店および出店数は、加盟店は24加盟、出店数は4店舗となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は20百万円(前年同期比32.0%減)、セグメント損失は29百万円(前年同四半期は4百万円のセグメント利益)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高12,369百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益272百万円(前年同期比4.2%減)、経常利益300百万円(前年同期比14.6%減)、四半期純利益110百万円(前年同期比33.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ944百万円増加し、12,843百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金、売掛金、有形固定資産がそれぞれ880百万円、19百万円、137百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ917百万円増加し、9,957百万円となりました。主な要因といたし

ましては、社債及び1年内償還予定の社債がそれぞれ790百万円、220百万円増加した一方、長期借入金が408百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、2,886百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金及び為替換算調整勘定がそれぞれ50百万円、45百万円増加した一方、自己株式が68百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローが893百万円の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが8百万円の資金増、財務活動によるキャッシュ・フローが34百万円の資金増となった結果、前連当連結会計年度と比べ953百万円増加し、3,768百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は893百万円(前年同期は407百万円の獲得)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益を248百万円、減価償却費を316百万円、のれん償却額を93百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は8百万円(前年同期は5百万円の使用)となりました。これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出100百万円があったものの、差入保証金の回収による収入251百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は34百万円(前年同期は558百万円の獲得)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出1,003百万円があったものの、社債の発行による収入1,100百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月12日付「平成25年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で開示致しました平成26年2月期通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、同日公表の「平成26年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年3月1日付で、連結子会社であった株式会社シークレットテーブルは、当社を存続会社とした吸収合併により消滅しました。

また、平成25年6月21日付で米国ハワイ州にBuho Waikiki LLC.を設立したことにより当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、当社、連結子会社7社及び非連結子会社2社の計10社により構成されることとなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当第1四半期連結会計期間において、期首の繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産の金額は45,131千円増加しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法)

法人税法の改正(平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)、「法人税法施行令の一部を改正する政令」(平成23年政令第379号)及び「法人税法施行規則の一部を改正する省令」(平成23年財務省令第86号)並びに平成24年1月25日

公布の「減価償却資産の耐用年数等に関する省令の一部を改正する省令」(平成24年財務省令第10号)に伴い、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法(200%定率法)に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(株式分割及び単元株制度の採用について)

当社は、会社法第184条及び第191条の規定に基づき、平成25年9月1日付をもって発行可能株式数を100,000株から9,688,000株に変更し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

また、これに伴い普通株式1株につき100株に分割しております。

(1) 分割により増加する発行済株式総数

普通株式 2,397,780株

(2) 分割方法

平成25年8月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、1株につき100株の割合をもって分割しております。

当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間における1株当たり情報及び当期首に行われたと仮定した場合の当第2四半期連結累計期間における1株当たり情報は、それぞれ以下のとおりとなります。

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
1株当たり四半期純利益金額	34円26銭	46円17銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,882,986	3,763,938
売掛金	257,629	277,148
商品	10,916	7,226
原材料及び貯蔵品	124,592	121,909
その他	831,436	899,234
貸倒引当金	1,641	1,900
流動資産合計	4,105,920	5,067,557
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,143,572	7,225,919
減価償却累計額	4,434,537	4,491,762
減損損失累計額	632,199	564,760
建物(純額)	2,076,835	2,169,397
車両運搬具	-	1,714
減価償却累計額	-	714
車両運搬具(純額)	-	1,000
工具、器具及び備品	2,152,309	2,202,479
減価償却累計額	1,849,304	1,844,463
減損損失累計額	73,579	55,795
工具、器具及び備品(純額)	229,424	302,220
土地	90,216	90,216
リース資産	483,631	494,252
減価償却累計額	257,227	301,266
減損損失累計額	14,464	11,537
リース資産(純額)	211,938	181,448
建設仮勘定	15,563	17,543
有形固定資産合計	2,623,979	2,761,827
無形固定資産		
のれん	455,043	383,204
その他	66,419	70,445
無形固定資産合計	521,463	453,649
投資その他の資産		
差入保証金	4,070,936	3,923,875
その他	577,477	636,374
貸倒引当金	771	-
投資その他の資産合計	4,647,641	4,560,249
固定資産合計	7,793,083	7,775,726
資産合計	11,899,004	12,843,284

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	523,412	579,184
短期借入金	75,834	-
1年内返済予定の長期借入金	1,838,002	1,634,794
1年内償還予定の社債	180,000	400,000
未払法人税等	166,747	180,244
賞与引当金	30,484	31,523
株主優待引当金	14,117	4,431
資産除去債務	43,154	12,256
その他	1,649,300	2,032,237
流動負債合計	4,521,053	4,874,671
固定負債		
社債	420,000	1,210,000
長期借入金	3,132,943	2,724,479
資産除去債務	381,816	369,514
負ののれん	114,614	53,736
その他	468,699	724,608
固定負債合計	4,518,072	5,082,338
負債合計	9,039,126	9,957,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	502,015	502,015
資本剰余金	492,015	492,015
利益剰余金	1,850,203	1,900,294
自己株式	2,413	71,391
株主資本合計	2,841,820	2,822,932
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,057	63,340
その他の包括利益累計額合計	18,057	63,340
純資産合計	2,859,878	2,886,273
負債純資産合計	11,899,004	12,843,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	12,324,017	12,369,583
売上原価	2,780,844	2,796,613
売上総利益	9,543,172	9,572,970
販売費及び一般管理費	9,258,217	9,300,049
営業利益	284,954	272,921
営業外収益		
負ののれん償却額	60,877	60,877
その他	62,869	48,916
営業外収益合計	123,747	109,794
営業外費用		
支払利息	46,296	52,093
支払手数料	234	26,044
その他	10,191	3,946
営業外費用合計	56,721	82,084
経常利益	351,980	300,630
特別利益		
固定資産売却益	34,183	5,760
固定資産受贈益	-	11,289
特別利益合計	34,183	17,050
特別損失		
固定資産除却損	38,178	8,555
減損損失	102,743	59,998
その他	-	339
特別損失合計	140,921	68,892
税金等調整前四半期純利益	245,241	248,787
法人税等	162,410	138,256
少数株主損益調整前四半期純利益	82,831	110,530
四半期純利益	82,831	110,530

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	82,831	110,530
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	9,035	45,283
その他の包括利益合計	9,035	45,283
四半期包括利益	91,867	155,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,867	155,813
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	245,241	248,787
減価償却費	368,926	316,168
減損損失	102,743	59,998
のれん償却額	88,070	93,131
負ののれん償却額	60,877	60,877
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,241	512
賞与引当金の増減額(は減少)	11,076	996
支払利息	46,296	52,093
売上債権の増減額(は増加)	6,266	18,552
たな卸資産の増減額(は増加)	3,608	7,439
仕入債務の増減額(は減少)	28,231	53,585
その他	118,185	341,915
小計	680,737	1,094,173
利息及び配当金の受取額	824	915
利息の支払額	46,296	41,634
法人税等の支払額	227,512	160,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	407,752	893,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	1,046	3,067
有形固定資産の取得による支出	77,283	100,538
無形固定資産の取得による支出	6,406	1,416
子会社株式の取得による支出	20,001	-
差入保証金の差入による支出	92,104	98,374
差入保証金の回収による収入	204,660	251,886
長期前払費用の取得による支出	36,281	31,402
資産除去債務の履行による支出	12,783	22,478
その他	35,778	13,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,468	8,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	201,800	75,834
長期借入れによる収入	1,750,000	390,000
長期借入金の返済による支出	966,334	1,003,512
社債の発行による収入	200,000	1,100,000
社債の償還による支出	70,000	90,000
配当金の支払額	71,942	60,192
その他	81,731	226,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	558,191	34,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,035	17,846
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	969,511	953,932
現金及び現金同等物の期首残高	2,279,829	2,814,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,249,341	3,768,881

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、市場買付の方法により、平成25年5月14日から平成25年8月31日までに68,978千円の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は71,391千円となっております。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,132,961	3,161,055	30,000	12,324,017	-	12,324,017
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	9,132,961	3,161,055	30,000	12,324,017	-	12,324,017
セグメント利益	726,968	357,714	4,038	1,088,721	803,766	284,954

(注)1. セグメント利益の調整額 803,766千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、当社グループはライセンス事業に進出したことにより、同事業を報告セグメントに追加しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、撤退予定の3店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては80,955千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の1店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,787千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	9,203,710	3,145,461	20,412	12,369,583	-	12,369,583
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	9,203,710	3,145,461	20,412	12,369,583	-	12,369,583
セグメント利益又は セグメント損失()	627,387	304,722	29,232	902,877	629,956	272,921

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 629,956千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、撤退予定の2店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては27,713千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の1店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては32,284千円であります。